



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月2日

上場会社名 株式会社 東邦銀行 上場取引所 東
 コード番号 8346 URL <http://www.tohobank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 佐藤 稔
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 田辺 直之 (TEL) 024-523-3131
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	44,019	△8.8	4,335	△11.1	2,428	△16.5
2020年3月期第3四半期	48,246	△13.9	4,877	10.1	2,907	△1.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 6,162百万円(158.6%) 2020年3月期第3四半期 2,382百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	9.63	—
2020年3月期第3四半期	11.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,577,737	195,888	2.9
2020年3月期	6,020,752	190,985	3.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 195,888百万円 2020年3月期 190,985百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.00	—	2.00	6.00
2021年3月期	—	3.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,600	△7.6	5,600	28.0	3,100	13.6	12.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	252,500,000株	2020年3月期	252,500,000株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	443,080株	2020年3月期	442,963株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期3Q	252,057,025株	2020年3月期3Q	252,057,313株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) 追加情報	6

(参考資料)

2020年度第3四半期決算説明資料	7～13
-------------------------	------

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

経常収益は、有価証券利息の減少および国債等債券売却益の減少などにより、前年同期比42億27百万円減少し440億19百万円となりました。

経常費用は、与信関係費用の減少などから、前年同期比36億85百万円減少し396億83百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比5億41百万円減少し43億35百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少に伴い前年同期比4億79百万円減少し24億28百万円となりました。

なお、業務の根幹をなすコアの利益である「コア業務純益」は、有価証券利息減を主因に資金利益が減少したものの、業務改革（BPR）および店舗戦略による人員配置の適正化等による経費圧縮などから、前年同期比7億14百万円増加し79億63百万円となりました。

セグメントごとの財政状態および経営成績の状況に関する認識および分析・検討内容は次のとおりであります。

○銀行業

経常収益は、有価証券利息の減少および国債等債券売却益の減少などにより、前年同期比48億32百万円減少し381億14百万円となりました。また、セグメント利益は、与信関係費用が減少する一方で、国債等債券関係損益の減少などから前年同期比10億97百万円減少し35億59百万円となりました。

○信用保証業

経常収益は、受取保証料の減少などにより前年同期比12百万円減少し13億55百万円となりました。また、セグメント利益は、与信関係費用の減少などから前年同期比2億92百万円増加し10億16百万円となりました。

○その他

経常収益は、グループ会社の業務収益の増加などにより、前年同期比8億3百万円増加し79億80百万円となりました。また、セグメント利益は経常収益の増加に伴い前年同期比4億68百万円増加し13億94百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

主要勘定の動向

- A. 譲渡性預金を含む総預金は、個人預金・法人預金が引き続き順調に推移し、前年度末比1,323億円増加し5兆9,137億円となりました。
- B. 貸出金は、新型コロナウイルスの影響を受けたお客さまへの積極的な経営支援などにより事業性貸出が増加しましたが、公共貸出の減少などから前年度末比343億円減少し3兆8,210億円となりました。
- C. 有価証券は、世界的な超金融緩和環境が続く中、中長期的な金利リスク回避に配慮しつつ効率的な運用に努めた結果、前年度末比789億円増加し4,384億円となりました。
- D. 連結自己資本比率は、9.28%と引き続き十分な水準を維持しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	1,619,581	2,129,773
買入金銭債権	12,596	13,058
商品有価証券	16	17
金銭の信託	7,450	10,550
有価証券	359,468	438,465
貸出金	3,855,393	3,821,040
外国為替	1,203	1,475
リース債権及びリース投資資産	12,403	12,735
その他資産	112,540	111,257
有形固定資産	37,795	36,012
無形固定資産	5,414	6,330
繰延税金資産	9,720	8,860
支払承諾見返	5,582	9,555
貸倒引当金	△18,414	△21,397
資産の部合計	6,020,752	6,577,737
負債の部		
預金	5,316,600	5,395,592
譲渡性預金	464,867	518,197
借入金	2,806	412,875
外国為替	153	327
信託勘定借	969	2,653
その他負債	28,225	32,783
退職給付に係る負債	6,331	5,742
睡眠預金払戻損失引当金	659	659
偶発損失引当金	284	276
ポイント引当金	166	194
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	299	404
再評価に係る繰延税金負債	2,821	2,587
支払承諾	5,582	9,555
負債の部合計	5,829,766	6,381,849
純資産の部		
資本金	23,519	23,519
資本剰余金	13,653	13,653
利益剰余金	152,453	153,894
自己株式	△145	△145
株主資本合計	189,480	190,921
その他有価証券評価差額金	4,874	8,091
土地再評価差額金	441	168
退職給付に係る調整累計額	△3,810	△3,292
その他の包括利益累計額合計	1,505	4,966
純資産の部合計	190,985	195,888
負債及び純資産の部合計	6,020,752	6,577,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
経常収益	48,246	44,019
資金運用収益	26,178	24,984
(うち貸出金利息)	21,148	20,881
(うち有価証券利息配当金)	4,258	3,235
信託報酬	0	0
役務取引等収益	11,045	10,829
その他業務収益	9,328	6,828
その他経常収益	1,694	1,377
経常費用	43,369	39,683
資金調達費用	556	294
(うち預金利息)	445	257
役務取引等費用	4,113	3,951
その他業務費用	4,660	4,459
営業経費	27,310	26,616
その他経常費用	6,727	4,362
経常利益	4,877	4,335
特別利益	3	70
固定資産処分益	—	68
国庫補助金	3	1
金融商品取引責任準備金戻入	—	0
特別損失	514	857
固定資産処分損	65	97
減損損失	445	757
金融商品取引責任準備金繰入額	0	0
固定資産圧縮損	3	1
税金等調整前四半期純利益	4,366	3,548
法人税、住民税及び事業税	1,467	2,020
法人税等調整額	△9	△899
法人税等合計	1,458	1,120
四半期純利益	2,907	2,428
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,907	2,428

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,907	2,428
その他の包括利益	△525	3,734
その他有価証券評価差額金	△932	3,217
退職給付に係る調整額	407	517
四半期包括利益	2,382	6,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,382	6,162

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

新型コロナウイルス感染症の影響に関する一定の仮定については、当連結会計年度第2四半期の四半期報告書における「貸倒引当金の計上基準」の（追加情報）に記載した内容から重要な変更を行っておりません。

(参考資料)

2020年度第3四半期 決算説明資料

1. 損益の状況 【単体】
2. 業績の状況 【単体】
3. 自己資本比率 【連結・単体】
4. 金融再生法開示債権 【単体】
5. 損益の内訳 【単体】

1. 損益の状況【単体】

(1) 経常収益 **381億14百万円** <前年同期比 **△48億32百万円(△11.3%)**>

有価証券利息の減少および国債等債券売却益の減少を主因として、経常収益は減収となりました。

(2) コア業務純益 **69億33百万円** <前年同期比 **+5億25百万円(+8.2%)**>

有価証券利息減を主因に資金利益は減少しましたが、業務改革(BPR)および店舗戦略による人員配置の適正化等による経費圧縮などからコア業務純益は増益となりました。

(3) 経常利益 **35億59百万円** <前年同期比 **△10億97百万円(△23.6%)**>

新型コロナウイルスの影響を踏まえ予防的な引当てを行いました。大口与信先への引当てにより繰入額が大幅に増加した前年同期と比較して与信関係費用は減少しました。

一方で、国債等債券関係損益が減少したことなどから、経常利益は減益となりました。

(4) 四半期純利益 **20億91百万円** <前年同期比 **△8億75百万円(△29.5%)**>

経常利益が減益となったことに加え、店舗戦略の見直し等に伴う固定資産減損損失計上などから、四半期純利益は減益となりました。

【参考】お客さま向けサービス(本業)業務利益(※) **17億56百万円** <前年同期比 **+3億47百万円**>

(※) 預貸金利益(貸出金平残×預貸金利回り差)+役務取引等利益+金利スワップ等収益-経費

お客さまとのお取引を通じた業務利益は、経費圧縮努力などにより、増益となりました。

(単位:百万円)

	2019年度 第3四半期 (9ヵ月)	2020年度 第3四半期 (9ヵ月)	前年同期比	2020年度 業績予想 (注)
(1) 経常収益	42,947	38,114	△4,832	
コア業務粗利益 ①	31,839	31,553	△286	
資金利益	26,254	25,423	△830	
役務取引等利益	5,527	5,358	△168	
その他業務利益(除く国債等債券関係損益)	58	771	713	
経費 ②	25,431	24,619	△811	
うち人件費	12,929	12,271	△657	
うち物件費	10,960	10,753	△206	
(2) コア業務純益 (①-②)	6,408	6,933	525	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	6,215	6,426	211	
有価証券関係損益	3,596	△153	△3,749	
国債等債券関係損益	3,251	103	△3,147	
株式等関係損益	329	△272	△602	
金銭の信託運用損益	15	14	△0	
与信関係費用 (A+B-C)	4,919	2,932	△1,987	
一般貸倒引当金繰入額 (A)	△44	792	836	
不良債権処理額 (B)	4,965	2,143	△2,821	
貸倒引当金戻入益等 (C)	1	3	2	
その他臨時損益	△427	△287	139	
(3) 経常利益	4,657	3,559	△1,097	4,800
特別損益	△510	△786	△275	(進捗率 74.1%)
税引前四半期純利益	4,146	2,773	△1,373	
税金費用	1,179	681	△497	
(4) 四半期純利益	2,967	2,091	△875	2,800
【参考】				(進捗率 74.7%)
お客さま向けサービス(本業)業務利益	1,409	1,756	347	

(注) 業績予想につきましては、2020年11月13日公表の数値から変更ありません。

2. 業績の状況【単体】

(1) 総預金(譲渡性預金含む)、預かり資産

A. 総預金 **5兆9,280億円** <前年同期比 **+2,793億円(+4.9%)>**

個人預金・法人預金が引続き順調に推移(+3,331億円)し、**前年同期比2,793億円増加(+4.9%)**しました。

B. 預かり資産 **4,276億円** <前年同期比 **△98億円(△2.2%)>**

預金以外の預かり資産は、投資信託が増加する一方で、生命保険・公共債が減少し、**前年同期比98億円減少(△2.2%)**しました。

(単位:億円)

	2019年12月末	2020年9月末	2020年12月末	2020年12月末	
				2019年12月末比	2020年9月末比
総預金	56,487	59,363	59,280	2,793	△82
個人預金	33,014	33,910	34,679	1,664	768
法人預金	12,646	13,858	14,312	1,666	454
公金預金等	10,826	11,594	10,288	△538	△1,305

(注) 総預金は、譲渡性預金を含んでおります。

(単位:億円)

	2019年12月末	2020年9月末	2020年12月末	2020年12月末	
				2019年12月末比	2020年9月末比
預かり資産	4,374	4,205	4,276	△98	71
生命保険	3,169	3,089	3,101	△67	12
投資信託	775	765	800	25	35
公共債	430	351	373	△56	22

C. 総預かり資産 6兆3,556億円 <前年同期比 +2,695億円(+4.4%)>

総預金と預かり資産を合計した総預かり資産は、主に個人預金・法人預金の増加により前年同期比2,695億円増加(+4.4%)しました。

(単位:億円)

	2019年12月末	2020年9月末	2020年12月末		
			2019年12月末比	2020年9月末比	
総預かり資産 (総預金+預かり資産)	60,861	63,568	63,556	2,695	△11
総預金	56,487	59,363	59,280	2,793	△82
預かり資産	4,374	4,205	4,276	△98	71

(注)総預金は、譲渡性預金を含んでおります。

(2) 貸出金(含む私募債)

貸出金(含む私募債) 3兆9,060億円 <前年同期比 +1,089億円(+2.9%)>

お客様のニーズに幅広く積極的にお応えした結果、前年同期比1,089億円増加(+2.9%)しました。

(単位:億円)

	2019年12月末	2020年9月末	2020年12月末		
			2019年12月末比	2020年9月末比	
貸出金(含む私募債)	37,971	40,686	39,060	1,089	△1,625
貸出金	37,215	39,913	38,289	1,074	△1,624
事業性貸出	15,320	15,572	15,808	487	236
個人ローン	8,238	8,119	8,166	△72	46
公共貸出	13,655	16,221	14,314	659	△1,906
私募債	756	772	770	14	△1

(注)2020年4月1日より、個人ローンに含まれるアパートローンの内、一定残高以上を事業性貸出として管理しております。

なお、同基準を適用した場合の2019年12月末の事業性貸出および個人ローンの残高は以下のとおりです。

(単位:億円)

	2019年12月末	2020年9月末	2020年12月末		
			2019年12月末比	2020年9月末比	
事業性貸出	15,382	15,572	15,808	425	236
個人ローン	8,176	8,119	8,166	△10	46

(3) 有価証券

有価証券 4,426億円 <前年同期比 +513億円(+13.1%)>

世界的な超金融緩和環境が続く中、中長期的な金利リスク回避に配慮しつつ効率的な運用に努めた結果、期末残高は前年同期比513億円増加(+13.1%)しました。

(単位:億円)

	2019年12月末	2020年9月末	2020年12月末		
			2019年12月末比	2020年9月末比	
有価証券	3,913	3,911	4,426	513	515
国債	488	746	1,067	578	321
地方債	414	432	542	127	109
社債	1,176	1,180	1,202	26	22
株式	449	410	424	△24	13
その他の証券	1,383	1,140	1,188	△194	48

(単位:億円)

	2019年12月末	2020年9月末	2020年12月末		
			2019年12月末比	2020年9月末比	
その他有価証券評価損益	119	91	106	△13	14
株式	109	91	110	0	18
債券	18	11	9	△9	△1
その他	△8	△11	△13	△5	△2

3. 自己資本比率【連結・単体】

連結自己資本比率 9.28% <2020年9月末比 +0.06%>

連結自己資本比率は9.28%と引き続き十分な水準を維持しております。

【国内基準】

(単位:億円)

		2020年9月末	2020年12月末	
			2020年9月末比	
連結	自己資本(A)	1,886	1,903	17
	リスクアセット等(B)	20,439	20,492	53
	自己資本比率(A÷B)	9.22%	9.28%	0.06%
単体	自己資本(C)	1,822	1,835	13
	リスクアセット等(D)	20,355	20,399	43
	自己資本比率(C÷D)	8.95%	8.99%	0.04%

4. 金融再生法開示債権(正常債権除く)【単体】

金融再生法開示債権 360億円 <前年同期比 +30億円>
 (総与信に対する比率 0.92% <前年同期比 +0.05%>)
 総与信に対する比率は0.92%と引続き極めて低い水準になっております。

【参考】部分直接償却を実施した場合 263億円 <前年同期比 +25億円>
 当行は、部分直接償却を実施しておりませんが、仮に部分直接償却を実施した場合は
 前年同期比25億円増加となります。

(単位:億円)

	2019年12月末	2020年9月末	2020年12月末		
			2019年12月末比	2020年9月末比	
金融再生法開示債権	330	353	360	30	7
破産更生債権等	141	141	148	6	6
危険債権	162	159	164	1	4
要管理債権	26	51	47	21	△4
総与信	38,063	40,800	39,179	1,116	△1,620
総与信比	0.86%	0.86%	0.92%	0.05%	0.06%

【参考】部分直接償却を実施した場合

(単位:億円)

	2019年12月末	2020年9月末	2020年12月末		
			2019年12月末比	2020年9月末比	
金融再生法開示債権	237	258	263	25	4
総与信	37,970	40,705	39,082	1,111	△1,623
総与信比	0.62%	0.63%	0.67%	0.05%	0.04%

5. 損益の内訳【単体】

(単位:百万円)

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減	
			増減	増減率
経常収益	42,947	38,114	△ 4,832	△11.3%
業務粗利益 ①	35,090	31,657	△ 3,433	△9.8%
(コア業務粗利益) A	(31,839)	(31,553)	(△ 286)	(△0.9%)
資金利益	26,254	25,423	△ 830	△3.2%
役務取引等利益	5,527	5,358	△ 168	△3.1%
その他業務利益	3,309	875	△ 2,433	△73.6%
うち国債等債券関係損益(5勘定戻) ②	3,251	103	△ 3,147	△96.8%
うち金利スワップ等収益	645	476	△ 168	△26.1%
経費(除く臨時処理分)	25,431	24,619	△ 811	△3.2%
人件費	12,929	12,271	△ 657	△5.1%
物件費	10,960	10,753	△ 206	△1.9%
税金	1,541	1,594	52	3.4%
実質業務純益	9,659	7,037	△ 2,622	△27.1%
(コア業務純益) B	(6,408)	(6,933)	(525)	(8.2%)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	(6,215)	(6,426)	(211)	(3.4%)
一般貸倒引当金繰入額 ③	△ 44	792	836	—
業務純益 ④	9,703	6,245	△ 3,458	△35.6%
臨時損益	△ 5,046	△ 2,685	2,360	—
不良債権処理額 ⑤	4,965	2,143	△ 2,821	△56.8%
個別貸倒引当金繰入額	4,896	2,016	△ 2,880	△58.8%
偶発損失引当金繰入額	△ 70	0	70	—
債権売却損等	139	126	△ 12	△8.8%
償却債権取立益 ⑥	1	3	2	148.5%
株式等関係損益(3勘定戻) ⑦	329	△ 272	△ 602	—
金銭の信託運用損益 ⑧	15	14	△ 0	△1.8%
その他臨時損益	△ 427	△ 287	139	—
経常利益	4,657	3,559	△ 1,097	△23.6%
特別損益	△ 510	△ 786	△ 275	—
うち固定資産処分損益	△ 64	△ 29	35	—
固定資産処分益	—	68	68	—
固定資産処分損	64	97	33	51.4%
うち固定資産減損損失	445	757	311	69.8%
税引前四半期純利益	4,146	2,773	△ 1,373	△33.1%
法人税等合計	1,179	681	△ 497	△42.2%
法人税、住民税及び事業税	1,091	1,629	538	49.3%
法人税等調整額	87	△ 948	△ 1,035	—
四半期純利益	2,967	2,091	△ 875	△29.5%
与信関係費用 (③+⑤-⑥)	4,919	2,932	△ 1,987	△40.4%
有価証券関係損益 (②+⑦+⑧)	3,596	△ 153	△ 3,749	—

(注1) コア業務粗利益 : A = 業務粗利益① - 国債等債券関係損益②

(注2) コア業務純益 : B = 業務純益④ + 一般貸倒引当金繰入額③ - 国債等債券関係損益②